

公共調達の適正化について(平成18年8月25日付財計第2017号)に基づく随意契約に係る情報の公表(物品役務等)

物品役務等の名称及び数量	契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	契約を締結した日	契約の相手方の商号又は名称及び住所	法人番号	随意契約によることとした会計法令の根拠条文及び理由(企画競争又は公募)	予定価格	契約金額	落札率	再就職の役員の数	備考
ブルーカーボン生態系による脱炭素化推進に関する研究委託	支出負担行為担当官 北陸地方整備局副局長 成川 和也 新潟市中央区美咲町1-1-1	令和8年4月9日	国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所 神奈川県横須賀市長瀬3-1-1	5012405001732	<p>会計法第29条の3第4項</p> <p>本業務は、輪島港におけるブルーインフラ整備で造成したブルーカーボン生態系による脱炭素化の推進のため及び藻場の創出が期待される七尾湾において、音響計測・水中撮影等によるデータを活用した高精度な藻場分布モデルを作成し、ブルーカーボン生態系の分布状況を把握・予測するとともにCO2吸収効果や海域環境の維持・向上に資するブルーカーボン生態系の造成メカニズムについて検証するものである。</p> <p>本業務実施に当たっては、下記の要件が必要となる。</p> <p>①港湾内外のブルーカーボン生態系によるCO2吸収量を計測・算定する高度な知見と計測・解析技術を有すること。</p> <p>②グリーンレーザーおよび音響観測による海中の3次元点群データに関する知見・観測技術・解析技術及び蓄積されたデータを保持し、CO2吸収源となるブルーカーボン生態系を面的に把握する研究実績を有すること。</p> <p>③物理・生物・化学的な環境データを基盤とした数値モデルにより藻場分布を予測計算する技術を有し、港湾における解析結果の検証を行うことができる高度な知見を有すること。</p> <p>国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所は、下記のとおり要件を満たす高い能力を有している。</p> <p>港湾内外のブルーカーボン生態系によるCO2吸収量を計測・算定する高度な知見と計測・解析技術を有している。</p> <p>また、グリーンレーザーおよび音響観測による海中の3次元点群データに関する知見・観測技術・解析技術及び蓄積されたデータを保持し、CO2吸収源となるブルーカーボン生態系を面的に把握する研究実績を有している。</p> <p>上記実績に加え、物理・生物・化学的な環境データを基盤とした数値モデルにより藻場分布を予測計算する技術を有し、港湾における解析結果の検証を行うことができる高度な知見を有することから、総合的にCO2吸収効果や海域環境の維持・向上に資するブルーカーボン生態系の造成メカニズムについて確認することができるかと判断できる。</p> <p>また、本業務の発注にあたり、参加希望の有無を公募により事前確認を行ったが応募者はいなかった。</p> <p>以上のことから、同法人は、本業務を効率的且つ確実に実施しうる唯一の機関であると判断されるので、会計法第29条の3第4項「契約の性質又は目的が競争を許さない場合」に基づき、国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所と随意契約するものである。</p>	19,998,000	19,998,000	100.00%	-	